

平成28年度予算に対する 各会派の要望

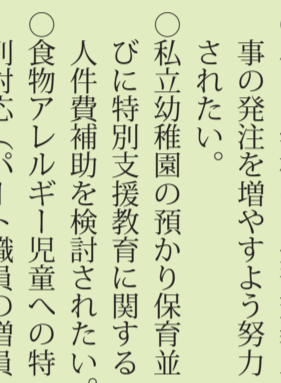
区の平成28年度予算編成に向け、各会派は各種政策を盛り込んだ予算要望書を、区長あて提出しています。その中から主な事項を掲載します。

足立区議会自由民主党

- 足立区議会自由民主党は、区民の生活向上のために、左記のとおり要望した。(抜粋)
- 最低落札価格(90%程度)の設定と適正価格による発注を続けられたい。
- 低価格制度の廃止が難しい場合、1億8千万円である設定価格を、都に準じて建築工事を5億円、土木工事を4億円まで引き上げられたい。
- 予定価格の積算根拠の数量計算の開示をされたい。
- 足立トラックターミナルの周辺に遠距離トラックの待機場所(道の駅をイメージしたもの)を設置されたい。
- 印刷物の区内業者への発注の優先をされたい。
- 貨物運送事業者のドライバー不足に対する雇用対策の検討をされたい。
- 感震プレーカーの設置費用について補助金の支給等を検討されたい。
- 社会保険労務士による区民相談コーナーのさらなる充実と学校での年金教育等の拡大を検討されたい。
- たばこ税の確保に鑑み区内販売を促進するための支援方法の充実を検討されたい。
- 喫煙マナー向上のために指定喫煙場所を増設されたい(北千住駅東口東京電機大学前確保)
- 捨て看板のペナルティ化の検討をされたい。
- 空き店舗の再利用を検討されたい。(学童保育・老人憩いの場等)
- 低公害車購入に対する補助金制度を検討されたい。
- 地場産業の発展のため、一層の支援と後継者の育成支援を充実されたい。
- 区内の産物として「あだち菜うどん」等、観光振興施策の強化に図られたい。
- 成人歯科健診の拡充と幼児の口腔健康対策を推進されたい。
- 障がい児童の摂食指導対策に取り組みられたい。
- 休日・夜間対応薬局の助成事業へ4分の3補助を検討されたい。
- 「お薬手帳」の普及・啓発と助成を検討されたい。
- すべての休日・夜間診療所に薬剤師を配置されたい。
- 特定保健指導の充実のため予算措置を図られたい。
- 視力障がい者の情報収集に伴う機器(デジタル化)の購入助成を検討されたい。
- 認証保育所における安定的職員確保に関する予算を検討されたい。
- 特別養護老人ホーム職員の確保や定着化に関し、職員募集活動や資格向上に向けた経費支援を検討されたい。
- 柔道接骨師による機能回復訓練をさらに充実されたい。
- 成年後見制度への行政書士の活用を図られたい。

足立区議会公明党

- 後発医薬品の使用促進のため、より一層の啓発活動を検討されたい。
- 区内各駅においてホームドアの設置を検討されたい。
- 街並み景観、防災等による電線地中化を推進されたい。
- 土木・建設工事量の増大と受注機会の確保をされたい。
- 空き家・老朽化による空き家対策の強化をされたい。
- 私立幼稚園の園医(内科・歯科)の充実を図られたい。
- 小・中学校の内外部塗装工事の発注を増やすよう努力されたい。
- 私立幼稚園の預かり保育並びに特別支援教育に関する人件費補助を検討されたい。
- 食物アレルギー児童への特別対応(パート職員の増員等)を検討されたい。
- 私立幼稚園入園料補助金の所得制限を撤廃し、一律同額補助にされたい。
- 私立幼稚園の特別支援担当職員を採用するための補助をされたい。
- ハローワークとも連携し、社会的に人材不足が指摘されている職種の雇用対策を充実されたい。
- 在宅医療・介護の連携体制・仕組みを構築されたい。
- クラウドシステムを活用した在宅医療・介護の多職種間情報連携推進をされたい。
- 認知症では、医療と連携した早期発見・早期治療体制を推進されたい。
- 総合支援事業は地域のボランティア等との協働で生活支援等の充実を図られたい。
- 発達障がい児・者支援センターを、公有地等を利用して早期に設置されたい。
- (仮称)女性健康相談センターを創設されたい。
- 「成人眼科健診」を導入されたい。
- 若年層からの骨粗しょう症予防健診を実施されたい。
- 成人歯科健診の対象に若年者を含め、拡大されたい。
- 認可保育園の増設、保育需要に見合った定員の拡充を図られたい。
- 家賃補助等、保育士確保の支援を図られたい。
- 保育ママでは、新制度での募集の仕方変更により、子ども空きが生じないよう改善を図られたい。
- 「子育てコンシェルジュ」配置は子育てサロンのみならず、各地域に配置し、的確なアドバイスや相談が受けられるよう対応されたい。
- 認可保育園において発達支援児の定員を拡充されたい。
- 養育困難世帯の早期発見、早期対応の充実をされたい。
- 食の提供も含めた、子どもの居場所づくりに取り組まれたい。
- ひとり親世帯の生活状況等の実態調査をし、世帯状況に合わせた自立支援プログラムの作成に努められたい。
- 小・中学校の特別教室にエアコン設置を拡充されたい。
- 小学生から命の大切さを学ぶ「がん教育」を充実されたい。



○木造住宅密集地域での防災施策強化や地区防災計画の推進を図られたい。

○水害対策では、事前防災行動計画(タイムライン)の強化を図られたい。

○「感震プレーカー」の設置費用の助成を検討されたい。

○東京女子医科大学東医療センターに移転にあたり、第三次救急や周産期医療・がん治療等の診療体制確保や総合診療科設置を協議し推進されたい。

○公共施設の有料駐車場には、特に長時間利用者が高額にならないよう割引制度を導入されたい。

○はるかぜを含む区内路線バスのバス停に位置情報システムを導入されたい。



○日暮里・舎人ライナーの通勤・通学ラッシュ対策を図られたい。

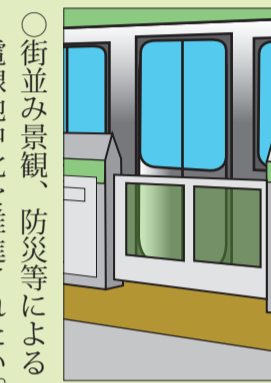
○プレミアム商品券の継続実施と販売方法の再考をされたい。

○ハローワークとも連携し、社会的に人材不足が指摘されている職種の雇用対策を充実されたい。

○在宅医療・介護の連携体制・仕組みを構築されたい。

○クラウドシステムを活用した在宅医療・介護の多職種間情報連携推進をされたい。

○認知症では、医療と連携した早期発見・早期治療体制を推進されたい。



○「子育てコンシェルジュ」配置は子育てサロンのみならず、各地域に配置し、的確なアドバイスや相談が受けられるよう対応されたい。

○認可保育園において発達支援児の定員を拡充されたい。

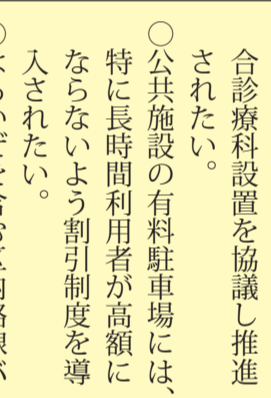
○養育困難世帯の早期発見、早期対応の充実をされたい。

○食の提供も含めた、子どもの居場所づくりに取り組まれたい。

○ひとり親世帯の生活状況等の実態調査をし、世帯状況に合わせた自立支援プログラムの作成に努められたい。

○小・中学校の特別教室にエアコン設置を拡充されたい。

○小学生から命の大切さを学ぶ「がん教育」を充実されたい。



○「生活困窮者レスキュー事業」を実施すること。

○地域包括ケア充実のための

日本共産党足立区議団

- 日本共産党足立区議団の主要な要望は次のとおりである。(全506項目から抜粋)
- 憲法9条を生かす施策を発信し、自衛隊への若者名簿の抽出閲覧を中止すること。
- 国保・介護保険料、保育料の負担軽減を図ること。
- 公共施設等総合管理計画は、施設縮小のためとせず、サービスや利便性向上のための計画とすること。
- 障害者差別解消法を生かした施策を充実させること。
- 住宅困窮者支援を行うこと。
- 「原発ゼロ」を発信し、放射能対策を強めること。
- 耐震改修・除却工事費助成の上乗せを継続すること。
- 公園トイレは廃止せず「誰でもトイレ」を増やすこと。
- はるかぜの「短期的に実現路線」の実現を図ること。
- 大病院誘致を実現し、住民要望が生きるエリアデザインを進めること。
- 待機児童ゼロに取り組みられたい。保育の質の向上へ人材研修も実施されたい。



○滞納処分では、一律、機械的な徴収は行わないこと。

○公契約条例を拡大すること。

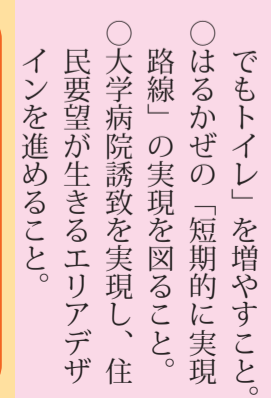
○スーパードラッグストア商品券を新年度も発行し、地域経済循環の拡大を図ること。

○認可保育園、学童保育室の増設と人材確保で、待機児解消を図ること。

○子どもの貧困対策として給付型奨学金、SSW増員、居場所づくりを進めること。

○学校統廃合は中止し、トイレの洋便器化、特別教室のエアコン設置を進めること。

○子ども医療費助成を高校3年生まで拡大するとともに、不妊治療費助成や相談窓口の設置を行うこと。



○東京女子医大東医療センターの観点から協議されたい。

○子どもの貧困対策ならびに子どもの養育支援を新基本計画に盛り込まれたい。

○税等の収入未済等を徴収強化、23区最低を脱却されたい。

○離婚に関わる様々な相談のワンストップ窓口を設置、面会交流も支援されたい。

○給付型奨学金を行われたい。

足立区議会民主党

足立区議会民主党は、全176項目を要望するが、主なものは次のとおりである。